

長寿医療制度

「保険証届かない」苦情殺到

今月スタートした長寿(後期高齢者)医療制度で、入院や施設入所などで郵便物の転送届を出した高齢者に、新しい保険証が郵送されないケースが相次いでいる。確実に本人に渡すため、多くの自治体が保険証を郵送する際に「転送不要」としているためだ。各自治体には「保険証が届かない」との問い合わせが殺到しており、新制度は早くもつまずいた形だ。(社会面に関連記事)

「転送不要」あだ 転居者が受難

数千通戻った自治体も

新制度は、都道府県ごとに設立された後期高齢者医療広域連合が運用するが、新保険証の郵送は各自治体が担当した。新保険証は、はがき大の紙製と、キャッシュカード大でラミネート加工した紙製の2種類あり、県ごとにどちらかに決

めている。配布対象者は75歳以上と、65〜74歳で一定の障害認定を受けた人。会社員である息子や娘の被扶養者で、これまで保険料を支払っていなかった200万人を含め、計約1300万人が対象となる。

埼玉県は「確実に届けるため、転送不要の配達記録郵便が望ましい」と自治体に伝えたが、指示ではない。一部の自治体は普通郵便で送ったようだと釈明した。しかし、同県所沢市は「広域連合からの指示と受け止めた」としている。同市にはこれが原因で約200通が返送された。東京都や大阪府、千葉県の広域連合も各自治体

に「転送不要」とするよう伝えた。「転送不要としたために戻ってきたケースはあるようだ(都広域連合)」、「郵送後2、3日で数千通が戻ってきた市もある。本人に届かなかった保険証は府全体で1万通近いのでは(大阪府広域連合)」といい、本人に届いていない数すら把握できていない状況だ。

【稲田佳代】

「病院にかかれない」

新保険証未着

全額負担の例も

自治体「返送、想定以上」

「保険証が届かないので病院にかかれない」。4月にスタートした長寿(後期高齢者)医療制度。国による周知不足もあり、新しい保険証を持たずに病院を訪れ、引き返すお年寄りも出ている。自治体からは「苦情が多すぎて対応しきれない」と悲鳴も上がる。

【稲田佳代、真野森作】

東京都日野市に住む
大学教授の男性(64)は
約10年前、埼玉県所沢
市から母親(87)を呼び
寄せた。郵便物は日野
市に転送するよう、毎
年郵便局に届け出てき
た。2日に母親の健診
があり、妻が病院に付
き添ったところ「新保
険証がなければ全額負
担になる」と言われ、
引き返した。男性は「新
しい保険証が必要と知
らなかつた。必要な郵
便物は転送されてくる

も。米沢和彦・同医院
医事課長補佐は「保険
証以外に確認方法がな
くお金をいただくしか
ないが、納得できない
人もいる。新制度自体
あまり浸透していな
い」と話す。

は、広域連合に保険資
格の有無を個別に確認
しているという。

長寿(後期高齢者)医
療制度
75歳以上や、
65〜74歳で重い
障害がある高齢者を対
象にした医療保険制
度。原則として年金か
ら保険料が天引き(特
別徴収)され、従来は
保険料を支払わなくて
も済んだ被扶養者にも
保険料負担が生じる。
窓口での医療費負担は
原則1割。保険料は、
一律に負担する「均等
割」と前年所得に応じ
た「所得割」の合計か
ら算出される。年収が
少ない人は均等割が軽
減される。

順天堂大医学部付属
順天堂医院(東京都文
京区)では既に、新保
険証を持っていない高
齢者が外来に訪れ始め
ている。保険証がない
場合は全額自己負担を
求めざるを得ず、「月
が替わって突然高額を
請求された」と怒る人

東大医学部付属病院
(同)には1日数十人
のうち約200通が「転
送不要」としたことが
原因だった。市の窓口
まで取りに来る人や、
新制度に関する問い合

所沢市福祉総務課は
3月19日に約2万50
00通を発送したが、
受取人不在などで約6
00通が戻った。この
うち約200通が「転
送不要」としたことが
原因だった。市の窓口
まで取りに来る人や、
新制度に関する問い合

わせの電話が相次いだ
ことで対応が遅れ、4
月3日によく約2
00通を「転送可」と
して再発送した。

への発送も遅くなった
うえ、戻ってきたもの
が想定した以上に多
い。昼食の時間が無い
明する。